

2015年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	生物環境化学科						
科目名	日本語表現法応用 I						
科目区分	リテラシー科目	単位数	1	開講時期	2年前期		
必修・選択の別	必修						
担当者	藤本 晃嗣						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本語の特性を正しく理解し、使うことができる。 ・日本語の文法を理解し、正しく使用できる。 ・論理的な表現とは何かを理解し、記述・発表できる。 ・上記のような項目を学習し、日本語表現の応用力を修得する。 						
日程と内容	4/9 第1回：講義概要および履修心得・学習方法 4/16 第2回：話し言葉と書き言葉 その1 4/23 第3回：話し言葉と書き言葉 その2 4/30 第4回：書き言葉の技能 基礎 文の組立 その1 5/7 第5回：書き言葉の技能 基礎 文の組立 その2 5/14 第6回：書き言葉の技能 基礎 文の組立 その3 5/21 第7回：書き言葉の技能 基礎 呼応する言葉 5/28 第8回：書き言葉の技能 基礎 文のつながり方 6/4 第9回：書き言葉の技能 基礎 意味の限定 その1 6/11 第10回：書き言葉の技能 基礎 意味の限定 その2 6/18 第11回：書き言葉の技能 基礎 言葉の順序 その1 6/25 第12回：書き言葉の技能 基礎 言葉の順序 その2 7/2 第13回：書き言葉の技能 応用 要旨 その1 7/9 第14回：書き言葉の技能 応用 要旨 その2 7/16 第15回：定期試験 7/23 第16回：まとめ・復習						
成績評価基準	臨時試験		50%	実技 部外評価			
	報告書・レポート			プレゼンテーション			
	課題 演習		50%	計		100%	
授業到達目標の達成度	練習問題を解くことで、日常生活やレポートや書類を書く上で必要とされる日本語表現の技能を多くの学生が習得することができたと思われま。特に、「悪文」とされるわかりにくい文章について、問題点と修正点を理解することができたと思います。						
反省点	テキストを中心に進めていったが、学生の能力も高いので、テキスト以外のより実用的な課題をあたえることでより意義のある講義にすることができたと思われま。						
来年度の計画	やはりテキストを中心に進めるが、一方で実際に応用できるような課題も準備したいと思われま。						
授業評価アンケートに対するコメント	学生が問題を解くなど作業を中心に進めたため、学力の高い生徒などはやや退屈を感じたようであるため、作業の時間をうまく調整してできるだけ多くの学生にとってより有意義な講義にしていきたいと思われま。また板書をもう少し整理するようにしたいと思われま。						
履修登録者数	67名	定期試験 受験者数	66名	合格者数	66名	合格率	100%